

平成30年度 生活創造学科「栄養士コース」教育システム総覧

教育目標

栄養士コースでは、建学の精神と教育理念に基づき、実社会で役立つ実践力を備えた栄養士及び食に関する専門家の養成を教育目標とする。そのために地域の食文化を基礎とした教育を実践する。具体的には栄養士コースが定める学修成果の目標達成を目指す。

学修成果の到達目標

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

建学の精神と栄養士コースの教育目標を具現化するために、次の項目を学修成果の到達目標とする。

次の6項目について、社会に適応し地域社会に貢献できるレベルに達したと認められる者に短期大学士(栄養学)の学位を授与する。

1. 「尽心」：食に関するサービスの精神とおもてなしの心を込めた食の提供を、協働で実践できる人格を身につける。具体的には、次の特性の涵養を目指す。

①誠実性・真摯性  
栄養士の職場において、誠意を持って真剣に人と接し、職業人として信頼されることができる。

②多様性・協働性  
栄養士の職場において、多様な価値観を持つ人と協力して活動することができる。

①誠実性・真摯性  
栄養士の職場において、誠意を持って真剣に人と接することができる。

②多様性・協働性  
栄養士の職場において多くの人と様々な場面で協力して活動することができる。

2. 「創造」：自己管理能力や社会人としてのキャリアアップ基礎能力を身につけると共に、栄養士としての専門的知識・技能を修得する。具体的には、次の特性の涵養を目指す。

③知識・技能  
栄養士の職場において、求められる知識や技能を修得し、様々な場面で創意工夫し応用することができる。

④思考力・判断力・表現力・創造力  
栄養士の職場において、自分で考え、判断し、表現して、新しいものや良いものを創り出すことができる。

③知識・技能  
栄養士の職場において、求められる知識や技能を修得することができる。

④思考力・判断力・表現力・創造力  
栄養士の職場において、自分で考え、判断し、表現して、創り出すことができる。

3. 「実践」：地域の食文化に誇りを持ち、伝承し、情報発信する力を身につける。具体的には、次の特性の涵養を目指す。

⑤主体性・自立性・実行力  
栄養士の職場において、自分の意志や判断で、自立して行動し、問題を解決することができる。

⑥就業力・貢献力  
栄養士の職場において、職業人としての実践力を向上させ、地域社会に健康増進や栄養改善などにおいて積極的に貢献することができる。

⑤主体性・自立性・実行力  
栄養士の職場において、自分の意志や判断で、自立して行動することができる。

⑥就業力・貢献力  
栄養士の職場において、職業人としての実践力を向上させ、地域社会に貢献することができる力を身につける。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

栄養士コースの教育目標と学修成果の到達目標および学位授与の方針を達成するために、次の領域を教育課程編成の方針として教育を実施する。

- 「栄養に関する科目」：栄養・食生活や食品に関する基本的な知識を涵養する科目で構成している。
  - 「健康に関する科目」：食と健康、食品衛生、臨床栄養に関する基本的な知識を涵養する科目で構成している。
  - 「給食に関する科目」：給食に関する知識を涵養し実践能力を養成する科目で構成している。
  - 「大量調理に関する科目」：調理に関する知識を涵養し実践能力を養成する科目で構成している。
  - 「長崎食育学」：長崎の伝統料理を学び継承する科目である。
  - 「学外実習」：総合演習により準備したうえで、多様な職場において実践能力を養成する科目で構成している。
- 授業運営と成績評価は、学期および各授業科目のシラバスに従って実施する。  
各科目と学修成果との関連および系統的な科目構成は、カリキュラム・マップ（リスト型、ツリー型）に示す。

栄養士コースの教育目標と学修成果の到達目標および学位授与の方針を達成するために、次の項目を入学者受け入れの方針とする。

- 栄養士としての人間関係を高め、品性のある女性を目指して、取り組む意欲のある者。
- 食べ物に興味を示し、専門的な技術の修得はもちろん、真摯な態度で学ぶ心を持つ者。
- 長崎の食文化を学び、伝承し、情報発信力を身につけて、社会貢献をしたいと願う者。その他の事項については、全学の入学者受け入れの方針に示す。

